

三河湖観光センターきょう新装

完成した「三河湖テラスこりん」＝いずれも豊田市羽布町で



湖畔観光の情報発信 みんなこりん

豊田市下山区の三河湖周辺の観光情報を提供する休憩所「三河湖観光センター」が、今年3月からの改築工事を終え、3日からリニューアルオープンする。2日、同所で内覧会など記念式典が開かれ、新名称「三河湖テラスこりん」が発表された。

約44年間使用された建物を取り壊し、無人休憩所に生まれ変わった。21～24日に同市などで開催される世界ラリー選手権（WRC）を前に開所し、集客を図る。

豊田産のスギやヒノキを使い、温かみのある空間に仕上げた。パンフレットをジグザグに配置してギャラリーのようになり、「遊ぶ」「食べる」など興味のあるボタンを押すと関連映像を流したりするなど、観光情報の提供に力を入れる。

内覧会でマップと観光カードを紹介する担当者



新名称は市民から募集した。発案者は同市大沼町の小嶋悠仁さん（9）。三河湖の景観を多くの人に来て楽しんでほしいという願いを込めて、三河弁の「こりん」と名付けたという。設計、施工を担当したs

pace（スペース）＝東マ。観光の起点になっては京都の祖田篤輝さん（45）「しい」と話した。（堀百花）